

◎第Ⅰ回学校運営協議会の記録

① 委員の委嘱

② 会長の選任

③ 議事

○学校運営方針の説明⇒承認を得る

○学校評価（前年度の結果及び今年度の計画）の説明⇒承認を得る

○いじめ防止基本方針（昨年度の認知件数〈0件〉の報告及び今年度の計画）の説明⇒承認を得る

○本年度の取組（昨年度の助言を活かした）の進捗状況報告

・選ばれる学校としての取組（教科指導力と視覚支援専門性の向上に向けた研修体制）の説明⇒理解を得る

・地域貢献の取組（生徒会により生徒主体で検討を実施予定）の説明⇒理解を得る

・学校啓発活動（早期教育に繋がる関連団体へのアプローチ・盲ろう教育資料の甲府遺産登録を目指した取組）の説明⇒理解を得る

※議事に関する委員からの感想・意見

A 委員：昨年の検討事項を活かした取組が実施されていることが素晴らしい。地域貢献について説明があったが、池田地区には各種団体が17ある。それらの団体と連携が必要な場合は連絡を貰いたい。

B 委員：世の中が大きく変革してきている。支援機器などの充実により視覚障がい者の社会参画が多様になっている。それらを受け、これからの視覚障がい教育の現場も様々な変化があると思われる。良い面としてその変革がとても楽しみである。

C 委員：変化が大きな時代であるが、何より大事なことは専門性を維持継承し高めていくことである。その土台は「盲学校が大切で学校が楽しい場である」という思いや意識である。そういう思いや意識を引き続き育てていって欲しい。

D 委員：昨年度検討したことをすぐに実践に反映させて貰えるような組織としての意識が山梨盲の強みである。行事の精選があり、重点的に取り組みたいことが整理されてきている。変わっていく社会環境を受け止めながら、何が大切なことなのかを今後も引き続き整理していけると良いと思う。

F 委員：はじめて盲学校を訪れた。様々な見聞が学びになる。施設の利用者とのやり取りにおいては「参加の意思」「選択」「自己決定」等を大切にしている。今後の運営協議会で盲学校のことを知ることができることが楽しみである。

G 委員：昨年度の学校評価の結果からも分かるが、視覚障がい者の生活が充実

するために色々なことに取り組んでもらっている。私自身、盲学校を卒業してからずいぶん経つが、盲学校は全盲の者にとって行き届いた指導を受けられる唯一の場である。視覚障がい者が将来の社会参加に繋がる専門性の高い指導を受けられるよう、これからもよろしくお願いしたい。